

ジャガイモの育て方

●基礎知識

科名：ナス科
別名：馬鈴薯
原産：南米
地下茎を食用として用いる。

●栽培に必要な準備物

たねいも、堆肥、化成肥料、移植
ごて、じょうろ など

●6年の学習との関連

植物の葉に日光が当たることで、葉
にでんぷんができることをとらえる。
(主教材：インゲンマメ)

※栽培暦は、関東地方を標準にしたものです。



◇ソラニンに注意◇

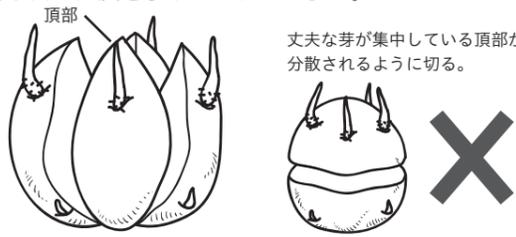
ソラニンとは、ジャガイモの芽や、未熟ないもなどに多く含まれる物質で、過剰に摂取すると腹痛や下痢を引き起こすことがある。
・収穫後は日光を避けて保存し、芽を取り除いて食べる。
・小さくて未熟ないもや、緑色っぽいものは食べないこと。

土づくり

植え付け前に、土をよく耕して、水はけをよくしておく。
元肥は、植え付けのときに施すので、事前に行う必要はない。
また、連作障害を起こしやすいため、前年にナス科の植物(ジャガイモ、トマト、ピーマンなど)を栽培した土は使わない。やむをえず同じ花壇で栽培する場合には、土を入れ替えたり、上下の土を入れ替えたりする必要がある。
ジャガイモの連作障害は、2～3年をあげれば防ぐことができる。

たねいもの準備

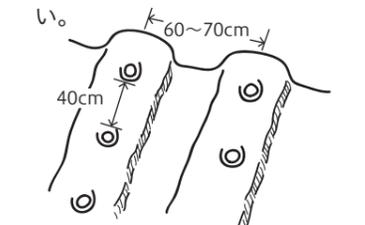
食用として売られているジャガイモをたねいもにすることもできるが、ウイルス病を持っている可能性があるため、それらの検査に合格した、専用のたねいもを植えるとよい。
①浴光育芽
たねいもを日光に当てることで、生育がよくなる。風通しのよい屋外で、芽が5mmほど伸びるまで行う。
②植え付け準備
たねいもは、切れ目から腐敗したり、病気に感染しやすくなるので、切らずにそのまま植えるのがよいが、大きなたねいもは、1片40～60gで、2～4個の芽があるように切り、2～3日日光に当てて乾燥させておく。また、切り口には灰をまぶしておくとうい。



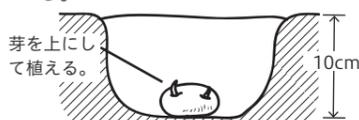
たねいもは、病虫害や腐敗の予防として、薬品処理されている。残ったたねいもを食用にはいけない。

間引き

- ①花壇を深く耕し、堆肥を施す。
- ②畝間60～70cmの畝を作り、深さ20cmほどの溝を掘る。
- ③溝に、40cmの間隔をあけてたねいもを植える。

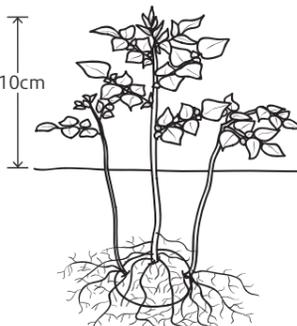


- ④たねいもとたねいもの間に、元肥として化成肥料30gと堆肥を施して5～7cmほど覆土する。



芽かき

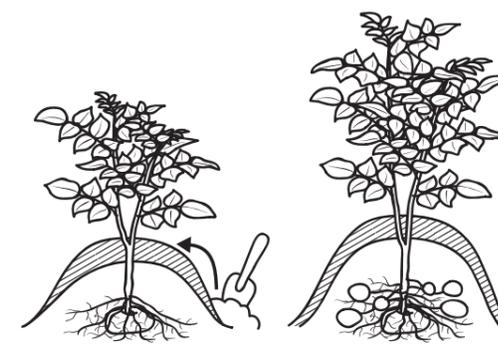
草丈が10cmほどまで育ったら、1株からの芽が2～4本になるように芽かきを行う。芽かきとは、たねいもから出た芽を間引く作業のことである。芽かきをするので、収穫するいも1つ1つを大きく育てることができる。
残す芽の根もとを押さえ、不要な芽を横向きに引き抜く。このとき、残す芽などを傷つけないように注意する。



追肥・土寄せ

芽かきが終わったら、1回目の追肥・土寄せを行う。ジャガイモは、たねいもの位置より上につくため、土寄せで畝を高くすることが重要である。
①1株当たり化成肥料10gを株周辺に追肥する。
②畝の土を、5～6cmの高さになるように軽く寄せる。

1回目の追肥・土寄せから10日ぐらいたったら、同じ手順で2回目の追肥・土寄せを行う。



1回目 5～6cm 高くする。 2回目 さらに5～6cm 高くする。

収穫、花壇整備

花が先終わり、葉や茎が黄色くなり始めたら、収穫の時期である。
①雨の日の収穫は避け、晴天が2～3日続いたあとの、気温の低い午前中に収穫する。
②日の当たらない場所に置けば、しばらく保存することができる。

収穫が遅れると、ジャガイモが腐敗したり、表面が傷んだりする原因となるため、収穫の時期には注意が必要である。
収穫を終えたら、雑草や根などをきれいに取り除き、腐葉土を混ぜて土に栄養を補給するなど、花壇を整備する。

■ジャガイモが好む環境

ジャガイモは、pH5.5～6.0の土を好む。ペーハーメーターなどの土の酸性度をはかる道具がある場合は、一度計測してみるとよい。pHを上げるには、消石灰を混ぜてやり、pHを下げるには、硫黄または硫黄塩を混ぜてやるとよい。
また、ジャガイモは肥料をあまり必要としない。肥料が多すぎると、葉が育ちすぎたり、アブラムシが発生しやすくなるので注意が必要である。



■注意が必要な病気・害虫

ジャガイモの栽培で注意が必要な病気に、そうか病があげられる。そうか病は、いもの表面にかさぶた状の病斑が現れる病気であり、連作をしないことや、土の中の水はけのよさを維持し、土寄せを適切に行うことで発生を抑制することができる。インゲンマメやダイズを前作すると発生を抑制できるという報告もある。
また、ニジュウヤホシテントウや、アブラムシ、ヨウトガの幼虫などの害虫による葉の食害も注意が必要である。これらが発生したら、早めに専用の殺虫剤を散布するとよい。

そうか病にかかったジャガイモ



ニジュウヤホシテントウ 体の星が28個ある。テントウムシダマシとも呼ばれるが、テントウムシ科の昆虫である。